

門司メディカルセンター 地域医療連携室だより

クラウドファンディング 始めます！

院長 興梠 征典

この度、クラウドファンディングを活用して、①病院屋上庭園の整備、②障がい者用駐車スペースの屋根設置を目指すことにしました。

- ① 入院患者さんは1日中病院内で過ごし、外の様子は窓から見るだけです。もし青空の下で、外気に触れ、日光を浴びれば大いに気分転換できるでしょう。またリラックスした気分家族と過ごすことができるでしょう。よって、屋上スペースを憩いの場として整備する計画を立てました。何より、当院屋上からは、関門海峡のすばらしい景観を見渡すことができます。私たちは、日本有数の「絶景が見える病院」と自負しています。



屋上庭園のイメージ



当院屋上からの眺め

- ② 悪天候でも患者さんが利用しやすいように、障がい者用駐車スペースに屋根を設置したいと考えています。雨の日の患者さんやご家族のご苦勞を見てきた職員からの提案です。

◎当院は公的医療機関ですが、国からの支援はなく独立採算で運営しています。急激な物価上昇への対応や、緊急性の高い医療機器の整備などに多くのコストがかかるため、屋上や駐車場の整備費用を捻出するのは困難です。そこでクラウドファンディングを考えました。連携医療機関のみならず、地元企業の方々にも、ご協力いただけましたらありがたく存じます。地域に密着した病院として、これからも全職員が奮闘してまいりますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

◎クラウドファンディングの寄付受付開始は、令和6年3月中旬を予定しています。詳細は改めてご案内いたします。

診療体制

当院循環器内科は、循環器4名（渡部、谷口、山岸、中原）及び腎臓内科1名（鐘江）の計5名で診療にあたっています。急性期医療として、急性冠症候群、心不全、頻脈性/徐脈性不整脈、重症下肢虚血、急性腎不全（緊急透析）等24時間体制で受け入れ可能です。

特に、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションについては、北九州市で5施設の不整脈専門医研修施設に認定されています。心臓弁膜症、冠動脈バイパス術等、外科症例については、当科で精査のうえ、産業医科大学や小倉記念病院と連携し治療を行っております。腎臓内科では、透析療法（維持透析・緊急透析）、バスキュラーアクセス作成、経皮的血管形成術（PTA）に対応しています。



外来包括心臓リハビリテーション

「包括的心臓リハビリテーション」とは、心臓病の患者さんが、体力を回復し自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰するとともに、再発や再入院を防止することを目指して行う総合的活動プログラムのことです。内容として、運動療法と学習活動・生活指導・相談(カウンセリング)などを含みます。外来で継続的に行うことで、長期予後改善効果、フレイル・サルコペニアの予防、QOLの改善が期待できる超高齢時代の循環器治療として注目を浴びています。

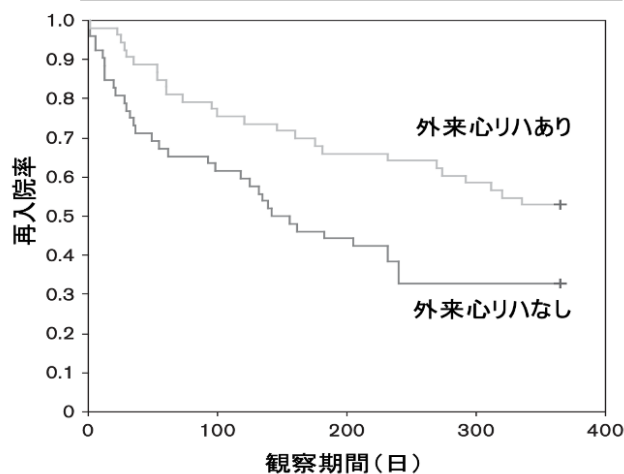
(表1) 心臓リハビリテーションで主に行うこと

当院では、医師・理学療法士・看護師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師がハートチームとなって、包括的に患者さん一人ひとりにあったプログラムを用意し、トレーニングを行っていきます(表1)。

- ①運動療法
 - ・運動処方
(患者さん個人に合った運動強度を決定：心肺運動負荷試験)
 - ・監視下運動トレーニング
 - ・在宅運動指導
- ②学習指導
 - ・心臓病に対する正しい知識を身につける
 - ・食事療法や禁煙の実行
 - ・日常生活での注意点を学ぶ
- ③カウンセリング
 - ・社会復帰や職場復帰への相談(専門相談窓口があります)
 - ・不安など精神的負担へのサポート

心臓リハビリテーションは、長く続ければ続けるほど、より効果を発揮します。入院中、患者さん方に
 していただいた心臓リハビリテーションは、当院では外来でも通いながら続けることができます。現在も
 多くの患者さんが、週1回～3回外来で心臓リハビリ
 テーションを行なっていただいています。外来心臓
 リハビリテーションの効果については、**図1**をご
 覧ください。これは、心不全の患者さんを対象とした
 研究で、外来心臓リハビリテーションを継続した患
 者さんとそうでない患者さんを比較して、心不全に
 よる再入院率と死亡率を比較したものです。ご覧の
 とおり、心臓リハビリの有無で大きな違いが生じてい
 ます。

(図1) 外来心臓リハビリテーションの効果



かかりつけ医の先生方へ

当院かかりつけの患者さんのみならず、**開業医の先生方にかかられている患者さんについても外来心臓
 リハビリテーションをしていただくことが可能**です。現在も多くの患者さんが来院されています。定期的
 にリハビリテーションに通っていただくことで、治療としての効果以外に、心疾患やその他疾患の早期発
 見にも大いに役立ちます。ご希望の患者さんがいらっしゃいましたら、一度循環器内科へご紹介いただい
 ければ幸いです。

心臓リハビリテーション実施風景



おかげさまで、当院での心臓リハビリテーションの実施件数はここ数年連続で全国の労災病院間で1位
 を維持させていただいております。特に高齢化した門司の患者さんの「健康寿命」を延ばし、元気に幸せ
 に過ごす手助けになれたらと願っております。

患者さんのご紹介をお待ちしております。

地域医療支援病院研修会のご案内

第11回 紹介症例検討セミナー

開催日時 : 2024年2月26日(月) 18:30~19:30

会場 : ①当院 7階会議室
②Web参加 (Zoom)

申込方法 : 下記メールアドレスへ参加申込
Mail : ijika-iji@mojih.johas.go.jp
又は 別紙申込用紙のFAX送信
(申込締切 : 2024年2月21日(水))

演題① : 「急速な転機をたどった脾腫瘍の一例」

発表者 : 武川 慎治 (消化器内科医師)

演題② : 「血管内治療が奏功した
内視鏡治療後の脾仮性動脈瘤の一例」

発表者 : 山口 紘輝 (消化器内科医師)



病院理念

働く人々と地域の人々の健康管理を支援し信頼される医療を提供します。

〒801-8502 北九州市門司区東港町3番1号

<地域医療連携室直通>

TEL : 093-332-7616

FAX : 093-331-3466

PHS : 093-332-1250 (地域医療連携室担当看護師)

室長	大西 英生		
課長	村岡 美紀子		
事務	池田 陽介		
	上田 英理子	川野 美穂	
	小山 真純	本田 美穂	
	片山 康雄	高田 裕美	
MSW	桂川 陽子	前原 知香	
	大石 夏喜		

入退院支援患者サポートセンター看護師長	古賀 さとみ
入退院支援患者サポートセンター看護師	野副 可奈子
	岡本 紀美子
	村枝 絹代
	秋本 眞水

